平成 12年
11 月 4 日

浜風 通信

第 4 号
発行所 茅ヶ崎の浜辺（中海岸地区）づくり協議会事務局
神奈川県
湘南なぎさ事務所 海岸砂防課
茅ヶ崎市汐見台 1－7
Tel：0467-58-1473

茅ヶ崎の浜辺（中海岸地区）づくり協議会発足!!

平成十二年九月三十日（土）に第一回茅ヶ崎の浜辺（中海岸地区）づくり協議会が開催されました。

昨年度、茅ヶ崎市在住の住民の方々によって構成される懇話会が運営され、中海岸における課題点・問題点について話し合いが行われました。

この懇話会での成果を受け、より具体的な海岸のイメージを構築するため「協議会」が設置されました。（図①）

この協議会は、日本大学の近藤健雄教授を委員長とし、懇話会からの継続委員、関連団体代表者の計二十一名の委員と、湘南なぎさ事務所をはじめとする事務局で構成されます。

第一回協議会では、昨年度の懇話会の活動内容や成果である「中海岸課題マップ」の紹介を行い、これを踏まえた形で各々の見識に基づいて、中海岸における課題点・問題点や、協議会の方向性に対する意見交換が行われました。（図-②、写真）

今回は、初回ということもあり、委員各員の自己紹介も兼ねて、それぞれの茅ヶ崎中海岸に対する思いと期待を発表していただきました。

～懇話会・協議会の流れ～

平成十一年度
茅ヶ崎の浜辺（中海岸地区）づくり懇話会
第一回：海岸保全事業の目的紹介
　・現地見学会
講演会・アンケート調査
第二回：侵食状況と保全対策
第三回：茅ヶ崎海岸の環境と利用
　・委員発表
第四回：委員発表
第五回：現地見学会

平成十二年度
◎海岸保全施設の導入に向けた整備方針・施設計画のイメージプランについて協議

図-① 前年度懇話会と今年度協議会の流れ

第 1 回協議会
平成 12 年 9月 30 日
（13:30～16:30）

1. 開会挨拶
2. 委員長紹介と挨拶
3. 委員自己紹介
4. 事務局紹介
5. 全体スケジュール説明
6. 資料説明
7. 意見交換
8. 閉会

図ー②協議会スケジュール

委員の皆さんのご意見

・夏の暑い海岸に、木陰を作る様な木を植えたらすばらしいですね。

・砂防林の中の散歩道は、とても喜ばれ

・人が集まり、くつろぐ事のできる海岸ができたら良いと思います。

・茅ヶ崎海岸では、自然を残した、バランスのとれた創造をしていかなければ

・海と河は一体のものですから、根本的な理由も考えていかなければならないと思います。

・侵食に対する浜辺づくりという事で、皆さんとともに、協力していきたいと思います。

写真ー第 1 回協議会の様子

・砂を溜める目的で構造物を造っても、それが危険なものになってしまうと人が集まらなくなってしまいます。

・十数年まえには、砂浜でドッチボールを行えましたが、今ではスポーツができない状態になってしまっています。

・周辺の海岸を見ても、人が集まっている場所というのは、やはり砂浜があるところです。砂浜が戻ってくる事を期待しています。

・海岸の手前だけでなく、烏帽子岩のあたりから大きく見ないといけないと思います。

・侵食の激しい所は、人工的に防護する

・砂浜の持つ浄化作用が機能できる様な技術的な工夫をして欲しいと思いま

・一年中利用できる海の家の様な、家族でくつろげる所ができたら良いと思い

・広い砂浜で、散歩や運動を行えるようにしたいものです。

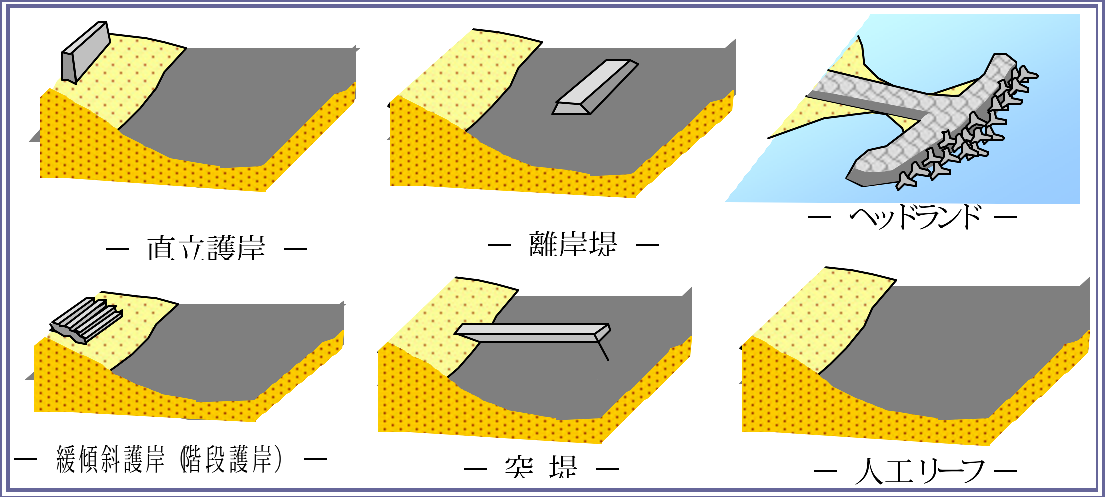
・中海岸の利用イメージを、どう作るか

・構造物を造る事による利益・不利益の問題や、「人を集める」事による、自動車や駐車場、ゴミの問題等で困る事のないようにする必要があります。

海岸保全施設のいろいろ

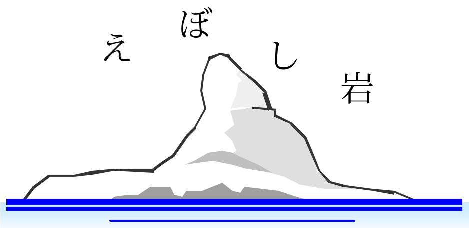
海岸侵食や高潮を防ぐ海岸保全施設の工法には、いろいろな種類があります。（図ー③）

茅ヶ崎中海岸にも「ヘッドランド」・「突堤」・「緩傾斜護岸」が整備されています。



図ー③主要な海岸保全施設

委員各員の普段実感されている、中海岸に対する課題点や要望の他に、流域全体を視野に入れた意見や、砂浜が回復する事への期待とこの協議会の方向性について意見等、さまざまな角度からの意見を賜る事ができました。



平成12年
11月4日
浜風 通信

第2回協議会・現地見学会開催!!

◇茅ヶ崎海岸の侵食状況◇

去る十月二十八日(土)「茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)づくり協議会」が開催されました。今回の開催は第二回目となり、今後の協議を進めるに当たって茅ヶ崎海岸の現状を認識するために午前中に現地見学が行われました。

見学箇所は侵食が進む中海岸中央部を含め、柳島地区の海岸整備状況や平塚ビーチパークなど、問題となっている中海岸とその周辺の海岸です。

第2回協議会
平成12年10月28日
(9:00～12:00)
1. 現地調査
→茅ヶ崎ヘッドランド
→茅ヶ崎海岸海水浴場周辺
→柳島消波堤
→平塚ビーチセンター
(13:30～16:00)
2. 開会
3. 委員紹介
4. 資料説明
5. 意見交換
6. 閉会

図―④現地見学ルートと協議スケジュール

◇現地見学のなかで

○茅ヶ崎ヘッドランド

ヘッドランド基部にはボードウォーク・デッキステージが整備されていることもあり、茅ヶ崎海岸の中でも人が集まる所となっています。

昨年開催された懇話会においてはヘッドランド付近の水域における安全性等について多くの意見があった場所です。

写真―茅ヶ崎ヘッドランド基部のBMS吐口

○茅ヶ崎海岸海水浴場周辺

海水浴場周辺では地曳網が行われており、シラスをはじめとした様々な魚類が収穫されていました。

海岸中央部の侵食に伴い、年々砂浜の勾配が急になっている箇所です。

写真―地曳網の様子

○柳島消波堤

写真―柳島消波堤を望む

柳島地区では後退した砂浜を回復するとともに、散策等の海岸利用促進を目的として、石材を再利用した整備が進められています。

海岸保全の在り方の一つとして、委員からも意見を賜ることができました。

○平塚ビーチパーク

現在、前面海域にてヘッドランドの建設が進められているビーチパークでは、砂浜の勾配が徐々に緩やかになっています。ビーチバレーコートや植栽等の整備もなされ、シーズン時には賑わいを見せています。

茅ヶ崎海岸では自然なイメージの環境整備を望む声が意見の中に見られました。

写真―平塚ビーチパークを見学する一行

◇現地見学を終えて

午前中の現地見学を踏まえ、午後には茅ヶ崎市役所内の会場にて、委員各々の感想や海岸保全の在り方について意見を発表して頂きました。

局所的な意見だけでなく、総合的な流域管理についての意見をお持ちの委員もおられ、広く視野での協議となりました。

委員の皆さんの主なご意見

自然の循環を助ける人工物はないのだろうか。
利用面に視点を置いて、人工的な施設を含め方針を考える必要がある。
人工的に造られた砂浜の幅はどの程度なのか。
湘南らしい草花を配置したい。
水面に構造物が出ない程度にして欲しい。
砂浜や木陰があって遊べる環境なのか人工的なもので遊べる環境なのかが分かれ道と思う。
自然なままの海岸で水遊びやスポーツに対応したい。
養浜した砂が流されない対策が必要。
安心して歩ける砂浜にしたい。

◇今後の検討項目

写真―第2回協議会の様子

昨年度の「茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)づくり懇話会」や前回の協議会での委員意見は非常に多岐に渡っておりました。そこで今年度の協議会活動の中で意見の集約を図るため、茅ヶ崎海岸に対する意見・要望を、

一 海岸保全施設整備事業についての検討事項
二 海岸環境整備事業
三 海岸および周辺地区での利用・運用

に分類し、今後の協議項目として整理を行いました。

具体的に今後の主な協議項目は右図に示すとおりです。

◇今後の主な協議項目◇
①砂浜の回復、維持
②景観の維持
③水域利用について
④ゴミ問題
⑤バリアフリー・ユニバーサルデザイン
⑥利便施設など

図―④今後の主な協議課題

～編集後記～

現地見学を行ったことで、各委員とも中海岸における海岸保全の緊急性が実感できたことと思われます。また、将来の中海岸のイメージが明確になった方もおられたのではないでしょうか。

以降の会においても忌憚のないご意見を承りたく存じます。

第4号
発行所 茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)づくり協議会事務局

神奈川県 湘南なぎさ事務所 海岸砂防課
茅ヶ崎市汐見台1―7 Tel:0467-58-1473